

令和2年度 学 生 募 集 要 項 — 音 楽 学 部 —

[一般入試]
[社会人入試]
[私費外国人留学生入試]

□障がい有する等の入学志願者との事前相談の申し出期限
令和2年1月16日（木）午後5時まで

□出願期間
令和2年1月27日（月）～2月5日（水）
※2月5日（水）郵送発信局消印有効

□試験日程
（前期日程試験）
○音楽表現専攻声楽コース：令和2年2月25日（火）、27日（木）
○音楽表現専攻ピアノコース：令和2年2月26日（水）、27日（木）
○音楽表現専攻弦楽コース：令和2年2月26日（水）、27日（木）
○音楽表現専攻管打楽コース：令和2年2月25日（火）、27日（木）
○音楽表現専攻作曲理論コース：令和2年2月25日（火）～2月27日（木）
○音楽文化専攻：令和2年2月25日（火）～2月27日（木）
○琉球芸能専攻琉球古典音楽コース：令和2年2月26日（水）、27日（木）
○琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース：令和2年2月25日（火）、27日（木）

□集合時刻・場所
集合時刻・試験会場等の詳細情報については、各専攻・コースの試験日前日の午後3時に管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載するので必ず確認すること。

□合格者の発表
令和2年3月5日（木）午前10時 ※学内掲示・ホームページ掲載

□入学手続期間
令和2年3月8日（日）～3月14日（土）
※窓口受付時間：土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで
郵送の場合は3月14日（土）午後5時までに必着



令和元年8月

沖縄県立芸術大学

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
電話 (098) 882-5080
<http://www.okigei.ac.jp>

令和2年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部学生募集要項

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員	3
第3	一般入試	
1	出願資格	3
2	選抜方法等	4
3	個別学力検査等の試験科目と日程	6
4	出願手続	8
5	受験票	11
6	受験上の注意	11
7	合格者の発表	12
8	入学手続	12
9	入試成績開示	13
第4	推薦入試	13
第5	社会人入試	
1	出願資格	13
2	選抜方法等	14
3	出願手続	15
4	受験票	16
5	受験上の注意	16
6	合格者の発表	17
7	入学手続	17
第6	私費外国人留学生入試	
1	出願資格	18
2	選抜方法等	18
3	個別学力検査等の試験科目と日程	18
4	出願手続	18
5	受験票	21
6	受験上の注意	21
7	合格者の発表	22
8	入学手続	22
9	その他	22
第7	教員免許状	23
◎	学生生活	23
◎	一般入試入学願書、写真票・受験票の記入例	25
※	出願用書類（綴込用紙）	
○	一般入試入学願書（前期日程試験）【薄黄色紙（薄紫色字）】	
○	一般入試（前期日程試験）写真票・受験票【薄黄色紙】	
○	社会人入試入学願書・履歴書、写真票・受験票、志願理由書【薄緑色紙】	
○	私費外国人留学生入試入学願書、写真票・受験票【黄色紙】	
○	領収書・領収書原符（一般（前期日程試験）・社会人・私費外国人留学生入試共通） 【白色紙】	
○	受験票送付用封筒（一般（前期日程試験）・社会人・私費外国人留学生入試共通） 【薄茶色封筒】	
○	出願書類提出用封筒（一般（前期日程試験）・社会人・私費外国人留学生入試共通） 【薄茶色封筒】	

令和2年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部学生募集要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人材

本学の教育の理念をよく理解し、学修に必要な基礎的知識や表現技術と将来性のある豊かな芸術的感性を備えるとともに、さまざまな芸術文化に深く興味を持ち、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人を求めます。

3 入学者選抜の実施

2に掲げる多様な可能性を持つ志願者を幅広く受け入れるため、本学では、一般入試、推薦入試及び社会人入試を実施しています。

一般入試における入学志願者の能力等の評価及び入学者選抜の方法として、大学入試センター試験では、国語及び外国語を中心に受験科目を課し、個別学力検査等では、各学部の教育方針やアドミッション・ポリシーに基づき、実技、小論文、口述試験、面接を実施しています。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探究し、解決する能力を身につけている。

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学及び学部の教育理念に基づき、音楽学部では、専門分野における基礎的な知識・技術に加え、大学の学修に必要な基礎的学力と広い視野を備え、将来、伝統芸術の継承発展と新たな芸術創造に寄与できる人を求めています。

【求める人材】

- 1 大学での学修に対する熱意をもち、音楽家、実演家、研究者又は教育者として活躍したい人
- 2 基礎的知識を基に音楽に対する視野を広げ、現代社会との関わりを意識している人
- 3 沖縄に関心があり、現代社会に向けて芸術創造の営みを発信する意欲ある人

【選抜試験の実施】

- 1 一般入試では、大学入試センター試験で国語及び外国語を中心に受験科目を課すとともに、個別学検査等では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、副科ピアノ等）を実施しています。
- 2 推薦入試では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、音、副科ピアノ等）、および面接を課しています。
- 3 社会人入試では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課しています。

いずれの入試においても、学部及び専攻・コースのアドミッション・ポリシーを基に実施し、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽学部では、沖縄の地で育まれた伝統芸能とともに、世界の芸術音楽を体系的に教授し、将来、実演家・教育者・研究者ならびに広く音楽芸術分野に貢献できる人材の育成をめざします。

上記の人材を育成することを目標として、大学カリキュラム・ポリシーを基本に次のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 少人数による教育
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 専門分野の実技と理論における体系的・横断的な授業科目の編成
- 4 全学教育科目における芸術諸分野及び教養に関する教育
- 5 地域社会との連携を図り社会との関係を学ぶ科目の提供
- 6 学生の多様な関心に対応し学習できる選択科目の設定

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で学習目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・芸能の各分野における専門的な知識と実演、創作等の技能を修得していること。
- 2 大学の学修で養った汎用的基礎能力を活かし、主体的に研究を継続し、それらを社会に発信できる能力を備えていること。

第2 募集人員

学科・専攻別募集人員は、次のとおりである。

学 科	専 攻	コース	入学 定員	募 集 人 員				
				一 般 入 試		推 薦 入 試	社会人 入 試	私費外国 人留学生 入 試
				前期	後期			
音 楽 学 科	音楽表現専攻	声 楽	23	17	0	6	0	若干名
		ピ ア ノ						
		弦 楽						
		管 打 楽						
		作 曲 理 論						
	音楽文化専攻	沖 縄 文 化	7	4	0	3	0	若干名
		音 楽 学						
	琉球芸能専攻	琉球古典音楽	10	5	0	5	若干名	若干名
		琉球舞踊組踊						
計			40	26	0	14	若干名	若干名

注1：推薦入試の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分を前期日程の募集人員に加える。

注2：社会人入試・私費外国人留学生入試の募集人員は、ともに一般入試の前期日程の募集人員に含む。

第3 一般入試

1 出願資格

次の各号の一に該当し、かつ、本学音楽学部が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（5ページの別表参照）を受験した者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和2年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（事前に資格認定審査を行うので、令和2年8月23日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

2 選抜方法等

(1) 選抜方法

音楽学部的一般入試は、分離・分割方式の前期日程により行う。2段階選抜、帰国子女等の特別選抜、定員一部保留第2次募集は行わない。

(2) 合否判定基準

第1次試験の合否判定は、専攻別試験のそれぞれの成績によって行う。ただし、音楽文化専攻においては大学入試センター試験の成績も、第1次試験の合否判定に用いる。

最終合否判定は、専攻別試験、音楽に関する基礎能力検査及び大学入試センター試験の得点、並びに調査書の結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(3) 大学入試センター試験

受験を要する教科・科目及び配点等は、5ページの別表による。

令和2年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等について

学部・学科等 及び入学定員等 〔平成31年度 志願倍率〕			学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						その他の 選抜方法 等
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	外国語	専攻 試験	音楽に 関する基礎 能力検査	配点 合計	
音楽学部 (1.8) 40人 前期26 その他14	音楽学科 40人 前期26 その他14	音楽表現 専攻 前期17 その他6	国	国を必ず受験	その他	【声楽コース】 実技検査、コーラルブーンゲン、 楽典、聴音または新曲視唱、 副科ピアノ 【ピアノコース】 実技検査、楽典、聴音、初見視奏 【弦楽・管打楽コース】 実技検査、楽典、聴音または新曲 視唱、副科ピアノ 【作曲理論コース】 実技検査（口述試験を含む） 楽典、聴音、副科ピアノ	センター試験	150	150			300	推薦 外国人 追加合格		
			外	英、独、仏、中、韓から1を必ず受験 （英語はリスニングテストを含む。） 〔2教科2科目〕				個別学力検査等		500	200	700			
										計	150	150		500	200
音楽文化 専攻 前期4 その他3	音楽文化 専攻 前期4 その他3	国	国	国を必ず受験	その他	【沖縄文化コース】 小論文（口述試験を含む）、 楽典、音楽または舞踊の実技 【音楽学コース】 小論文（口述試験を含む）、 楽典、聴音または新曲視唱、 副科ピアノ	センター試験	200	200			400	推薦 外国人 追加合格		
			外	英、独、仏、中、韓から1を必ず受験 （英語はリスニングテストを含む。） 〔2教科2科目〕				個別学力検査等		400	200	600			
										計	200	200		400	200
琉球芸能 専攻 前期5 その他5	琉球芸能 専攻 前期5 その他5	国	国	国を必ず受験	その他	【琉球古典音楽コース】 実技検査、楽典 【琉球舞踊組踊コース】 実技検査、初見演技、 楽典または初見視唱	センター試験	150	150			300	推薦 外国人 追加合格		
			外	英、独、仏、中、韓から1を必ず受験 （英語はリスニングテストを含む。） 〔2教科2科目〕				個別学力検査等		600	100	700			
										計	150	150		600	100
		社会人	免	除	その他	【琉球古典音楽コース】 実技検査、 小論文（口述試験を含む） 【琉球舞踊組踊コース】 実技検査、初見演技、 小論文（口述試験を含む）	個別学力検査等		600	400	1000				

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

(1) 本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しない。

(2) 英語については、筆記試験とリスニングテストの合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般入試の個別学力検査等に係る試験科目と試験日程は、次のとおりである。

(1) 試験科目

専攻・ コース名		専攻試験 (第1次試験)				音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)						
		実技検査	コールユー バソゲン	初見演技	小論文	楽典 (※注4)	聴音	新曲視唱	副科 ピアノ	初見視奏	音楽又は 舞踊の実 技 (※注5)	初見視唱
音楽表現	声 楽	◎	◎			◎	○	○	◎			
	ピアノ	◎				◎	◎			◎		
	弦 楽	◎				◎	○	○	◎			
	管打楽	◎				◎	○	○	◎			
	作曲理論 (口述試験含む)	◎				◎	◎		◎			
音楽文化	沖縄文化				◎ (口述試験含む)	◎					◎	
	音楽学				◎ (口述試験含む)	◎	○	○	◎			
琉球芸能	琉球古典音楽 (調弦含む)	◎				◎						
	琉球舞踊組踊	◎		◎		○						○

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目。○印は、出願時に、いずれか1つの科目を選択する。

注2：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声 楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦 楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、打楽器

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

注3：弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。

その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注4：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注5：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

* 琉球舞踊組踊コースでは、令和3年度入試から専攻試験に初見視唱を課す。又、音楽に関する基礎能力検査として楽典を課す。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望		音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
		声 楽	ピアノ	弦 楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
音楽表現	声 楽					○	○	○		
	ピアノ	○				○	○	○		
	弦 楽					○	○	○		
	管 打 楽					○	○	○		
	作曲理論	○					○	○		
音楽文化	沖縄文化							○	○	○
	音 楽 学	○					○			
琉球芸能	琉球古典音楽						○			○
	琉球舞踊組踊						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（専攻試験、音楽に関する基礎能力検査）に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。

ただし、

- ①音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では音楽学コースの科目を受験すること。
- ②音楽表現専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、受験する音楽表現専攻各コースの試験科目を受験すること。
- ③琉球芸能専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、「楽典」を受験すること。
- ④第2志望で作曲理論コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では作曲理論コースの試験科目を受験すること。（ピアノコースを除く）
- ⑤第2志望で琉球古典音楽コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では琉球古典音楽コースの試験科目を受験すること。

(2) 試験日程

専攻・ コース 月日	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
令和2年 2月25日 (火)	課題曲 自由曲 コルコブ・ソング			音階演奏 課題曲	作曲実技	小論文	小論文		課題曲 自由曲 初見演技
2月26日 (水)		課題曲A 課題曲B 課題曲C	音階演奏 課題曲		口述試験	口述試験	口述試験	調弦 課題曲 自由曲	
	一次発表 (17:00以降)								
2月27日 (木)	楽典 聴音 又は 新曲視唱	楽典 聴音	楽典 聴音又は新曲視唱		楽典 聴音	楽典	楽典 聴音又は 新曲視唱	楽典	楽典 又は 初見視唱
	副科ピアノ	初見視奏	副科ピアノ			音楽又は 舞踊の実技	副科ピアノ		

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子「令和2年度音楽学部試験曲」に記載されている。

沖縄県立芸術大学音楽学部では、過去3年間の入学試験問題を公表している。希望者は事前に本学教務学生課（098-882-5080）に確認し、返信用封筒（角形2号、必要分の切手を貼り、住所・氏名を明記すること）を同封の上、本学教務学生課あてに申し込むこと。

4 出願手続

- (1) 出願期間は、令和2年1月27日（月）から2月5日（水）までとする。ただし、2月5日（水）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月5日（水）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑩の順序に重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。なお、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書 (綴込用紙)	ア 入学願書は、記入された文字をOCR（光学文字読取装置）で読みとるので、折り曲げたり、汚したりしないこと。 イ 入学願書は、必ず鉛筆又はシャープペンシル（どちらもHB）を使用し、記入例を参考にして楷書で丁寧かつ正確に記入すること。 ウ 試験曲の選択など願書記入箇所が多いので、記入漏れがないよう特に気をつけること。
②受験票・写真票 (綴込用紙)	ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。 イ 写真票の成績請求票貼り付け欄内に、大学入試センターから送付されている「令和2年度センター試験成績請求票（前期日程用）」を貼り付ける。なお、成績請求票は6種類あるので、間違えないよう注意すること。 ウ 受験票、写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真（縦4cm、横3cm）を貼り付けること。 エ 第2志望を出願する者は、必ず写真票を2枚提出すること。
③入学考査料	ア 17,000円（納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る） イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。
④領収書・領収書原符 (綴込用紙)	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤調査書	ア 文部科学省所定の様式に従い、出身高等学校長が作成し厳封したものを提出すること。 イ 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。 ウ 廃校・被災等やむを得ない事情で調査書の取得ができない場合、調査書の代わりとして①卒業証明書 ②成績証明書 ③調査書を発行できない旨の文書をそろえて提出すること。ただし③は出身学校長か教育委員会、または知事が作成したものとする。
⑥受験票送付用封筒 (綴込封筒)	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑦その他の書類	ア 入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が平成31年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 イ 外国人は、旅券の写し、又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写しを提出すること。
⑧伴奏用楽譜 (声楽コース)	ア 声楽コース入学志願者は、次の伴奏用楽譜を提出すること。 （ア）課題曲のうち指定以外の調を選択した場合や、イタリア歌曲で外国版を使用する時。 （イ）自由曲 イ 提出楽譜は返却しない。 ウ 提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。 エ 提出楽譜は、印刷楽譜のコピーを用いること。または黒のペン又はボールペンで正確に写されたものでもよい。 オ 提出楽譜は、1曲毎に表紙（A4判）を付けて別冊にし、合本にしないこと。 カ 提出楽譜は、表紙に曲目、課題曲・自由曲の別、調、氏名を明記すること。 キ 提出楽譜は、ピアノ伴奏者が見やすく、ページをめくりやすくするために、各ページが全開するように綴じること。
⑨音楽又は舞踊の実技の録音媒体 (沖縄文化コース)	ア 沖縄文化コース入学志願者のうち、舞踊の実技を行う者は舞踊に用いるCD等録音媒体を提出すること。 イ 再生用機器等は本学側が準備する。 ウ 提出した録音媒体は実技試験終了後返却する。
⑩課題曲・自由曲の録音媒体（琉球舞踊組踊コース）	ア 琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の録音媒体（CDのみ）を提出すること。 イ 再生用機器等は本学側が準備する。 ウ 提出した録音媒体は実技試験終了後返却する。

「普通為替証書」見本

(3) 出 願 先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080 (直通)

(4) 出願上の注意

- ア 本学の前期日程に出願する場合は、他の同日程で試験を行う国公立大学・学部には重複出願できない。
- イ 入学志願者は、本学が課した大学入試センター試験の教科・科目を受験していることを確認してから出願すること。
- ウ 他の国公立大学・学部の推薦入試合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める推薦入学辞退手続きにより辞退した場合を除いて、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。
- エ 本学前期日程試験に合格し令和2年3月14日（土）までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学・学部の「公立大学中期日程（旧C日程）」試験及び「後期日程」試験を受験していてもその合格者とならない。
- オ 出願後は、志望専攻（コース）の変更を認めない。
- カ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- キ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- ク 声楽コース入学志願者及び声楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。
 ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- ケ 弦楽コース、管打楽コース入学志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
 (弦 楽 器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
 (管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、
 トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器
- コ 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者のうち、ヴィオラを第2志望とする入学志願者は、願書の該当する項目を選択し、出願すること。
- サ 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。
 歌三線、琉球箏曲
- シ 声楽、弦楽、管打楽、音楽学コースの入学志願者は、聴音と新曲視唱のいずれかを選択し、出願すること。
- ス 琉球舞踊組踊コースの入学志願者は、楽典と初見視唱のいずれかを選択し、出願すること。

(5) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるので、
 令和2年1月16日（木）午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

ア 相談の方法 相談申込書（健康診断書等必要書類添付）を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。

イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話番号 (098) 882-5080

5 受験票

- (1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票と大学入試センター試験受験票を必ず持参すること。
- (2) 受験票が、令和2年2月14日（金）までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

6 受験上の注意

- (1) 試験当日は、「本学受験票」と「大学入試センター試験受験票」の両方を必ず携帯すること。
- (2) 試験に関する諸事項（日程、科目、集合時刻等）の連絡は、管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

ア この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、実技試験における演奏順を確認すること。

イ 試験日程、試験場配置図及び集合時刻等は、2月24日（月）の午後3時に掲示（掲載）する。ただし、ピアノコース、弦楽コース、琉球古典音楽コースは2月25日（火）の午後3時に掲示（掲載）する。

ウ 実技試験の演奏順等の掲示（掲載）に記載する番号は、本学の受験番号である。

エ 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないよう特に注意すること。
- (3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。
- (4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。
- (5) 指定の練習室以外の場所（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習を禁止する。
- (6) 試験で使用する楽器のうち、**ピアノ、打楽器、マリンバ以外**は各自持参すること。ただし、コントラバス、箏は本学で準備したものを使用してもよい。
- (7) 試験で使用する稽古着（長着）。小道具は各自持参すること。
- (8) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。
- (9) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。

ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。

イ 筆記試験の際は、机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。

ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (10) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。
- (11) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (12) 携帯電話・PHS等は、試験場に入る前に電源を切ること。
- (13) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。
- (14) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。
- (15) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (16) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。

7 合格者の発表

(1) 第1次試験合格者の発表は、8ページの「試験日程」に示した日時に管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で受験番号を掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

(2) 最終合格者の発表

令和2年3月5日（木）（午前10時）に管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で受験番号を掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 1月28日（火）10:00～2月15日（土）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月5日（木）10:00～3月8日（日）17:00

(3) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日（土）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、3月28日（土）から3月31日（火）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

8 入学手続

(1) 入学手続期間

令和2年3月8日（日）～3月14日（土）

※窓口受付時間：土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで

入学手続書類は、令和2年3月14日（土）までに本人又は代理人が直接持参することが望ましい。郵送する場合は「書留郵便で速達」とし、令和2年3月14日（土）午後5時までの必着とする。
（注意）消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書（本学指定様式）
- イ 保証書（本学指定様式）
- ウ 高等学校卒業証明書又は卒業見込証明書
- エ 大学入試センター試験受験票（入学手続後、本人に返送）
- オ 入学料領収書の写し（A4サイズでコピー）又は入学料減免申請手続に係る申出書（本学指定様式）
- カ 写真2枚（上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm）※出願時（受験票）とサイズが異なるので注意。
- キ その他（入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

ア 入学料 県内居住者 282,000円

県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。

※入学料以外の授業料・学外研究費については、22ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

申請条件 原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

(5) 手続場所 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(6) 留意事項

- ア 令和2年3月14日（土）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものととして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
- イ 令和2年3月14日（土）までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
- ウ いったん納入した入学料や授業料は、「沖縄県立芸術大学授業料等の徴収に関する条例（昭和61年1月7日沖縄県条例第2号）」第13条に基づき、いかなる理由があっても返還しない。

9 入試成績開示

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。

(1) 開示内容

当該年度入試の個人成績を得点で開示する。

(2) 開示請求できる期間

令和2年4月16日（木）～令和2年5月15日（金）（午前9時から午後5時まで）
ただし、土・日・祝日等休業となる日は除く。

(3) 開示請求の受付を行う場所

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(4) 開示の方法

本人部分のみ閲覧

(5) 開示請求に必要な書類

受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。

(6) 開示請求

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

(7) その他

電話による開示内容の問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、沖縄県のホームページを参照のこと。

第4 推薦入試

推薦入試は、別途発行している「令和2年度推薦入試学生募集要項」による。

第5 社会人入試

1 出願資格

次の各号の一に該当し、令和2年4月1日現在社会人（就職の有無は問わない）として4年以上経過し、かつ22歳以上の者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及びこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものと

して認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和2年3月31日までに合格見込みの者

2 選抜方法等

大学入試センター試験を免除し、志願理由書、履歴書等の出願書類及び実技、小論文、口述試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(1) 試験科目

試験科目 専攻・コース		専攻試験		小論文
		実技検査	初見演技	
琉球芸能専攻	琉球古典音楽	◎ (調弦を含む)		◎ (口述試験含む)
	琉球舞踊組踊	◎	◎	◎ (口述試験含む)

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示している。

注2：琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コースのいずれかを第1志望とし、他を第2志望として出願することができる。

注3：琉球古典音楽コースを第1志望とし、琉球舞踊組踊コースを第2志望に出願する者は、琉球古典音楽コースの試験科目のほかに、琉球舞踊組踊コースの専攻試験（実技検査、初見演技）を受験すること。

注4：琉球舞踊組踊コースを第1志望とし、琉球古典音楽コースを第2志望に出願する者は、琉球舞踊組踊コースの試験科目のほかに、琉球古典音楽コースの専攻試験（実技検査－調弦を含む）を受験すること。

(2) 試験日程

専攻・コース 月日	琉球芸能専攻	
	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
令和2年 2月25日（火）		課題曲・自由曲・初見演技
2月26日（水）	調弦・課題曲・自由曲	
	一次発表（17:00以降）	
2月27日（木）	小論文、口述試験	

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子「令和2年度音楽学部試験曲」に記載されている。

3 出願手続

- (1) 出願期間は、令和2年1月27日（月）から2月5日（水）までとする。ただし、2月5日（水）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月5日（水）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑨の順序に重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。なお、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書・履歴書 （綴込用紙）	ア 本学所定の用紙に所要事項を漏れなく記入すること。 イ 記入はすべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。 ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押すこと。
②受験票・写真票 （綴込用紙）	ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。 イ 受験票、写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真（縦4cm、横3cm）を貼り付けること。
③入学考査料	ア 17,000円（納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る） イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。
④領収書・領収書 原符（綴込用紙）	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤最終学校の卒業証 明書等	高等学校以上の最終学歴を証明する卒業証明書か高等学校卒業程度認定試験合格証明書（大学入学資格検定合格証明書含む）、又はその他12ページの出願資格を証明する書類等を提出すること。
⑥志願理由書 （綴込用紙）	本学所定の用紙を使用して、本人自身が記入のうえ提出すること。
⑦受験票送付用封筒 （綴込封筒）	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑧その他の書類	ア 入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が平成31年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 イ 外国人は、旅券の写し、又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写しを提出すること。
⑨課題曲・自由曲の 録音媒体（琉球舞 踊組踊コース）	ア 琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の録音媒体（CDのみ）を提出すること。 イ 再生用機器等は本学側が準備する。 ウ 提出した録音媒体は実技試験終了後返却する。

「普通為替証書」見本

(3) 出 願 先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080 (直通)

(4) 出願上の注意

- ア 出願書類の入学志願者の氏名は、通称・略字等は使用せず、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 出願書類の受付後は、出願書類の返却及び記載事項の変更は一切認めない。
- エ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- オ 琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し出願すること。
歌三線、琉球箏曲

(5) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるので、
令和2年1月16日(木)午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

- ア 相談の方法 相談申込書(健康診断書等必要書類添付)を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。
- イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080

4 受 験 票

- (1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票を必ず持参すること。
- (2) 受験票が、令和2年2月14日(金)までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

5 受験上の注意

- (1) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯すること。
- (2) 試験に関する諸事項(日程、科目、集合時刻等)の連絡は、管理棟入口前(首里当蔵キャンパス)で掲示及び本学ホームページ(<http://www.okigei.ac.jp>)に掲載する。
 - ア この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、実技試験における演奏順を確認すること。
 - イ 試験日程、試験場配置図及び集合時刻等は、琉球舞踊組踊コースは2月24日(月)の午後3時に、琉球古典音楽コースは2月25日(火)の午後3時に掲示(掲載)する。
 - ウ 実技試験の演奏順等の掲示(掲載)に記載する番号は、本学の受験番号である。

エ 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないよう特に注意すること。

- (3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。
- (4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。
- (5) 指定の練習室以外の場所（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習を禁止する。
- (6) 実技試験で使用する楽器のうち、**三線**は各自持参すること。箏は本学で用意するが、本人持参でもよい。また、琉球舞踊組踊コースの実技試験には、稽古着（長着）。小道具は各自持参すること。
- (7) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。
- (8) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
 - ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。
 - イ 筆記試験の際は、机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。
 - ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (9) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。
- (10) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (11) 携帯電話・PHS等は、試験場に入る前に電源を切ること。
- (12) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。
- (13) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。
- (14) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (15) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。

6 合格者の発表

- (1) **第1次試験合格者の発表**は、14ページの「試験日程」に示した日時に管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で受験番号を掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。
- (2) **最終合格者の発表**

令和2年3月5日（木）（午前10時）に管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で受験番号を掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 1月28日（火）10:00～2月15日（土）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月5日（木）10:00～3月8日（日）17:00

7 入学手続

- (1) **入学手続期間** 令和2年3月8日（日）～3月14日（土）

※窓口受付時間：土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで

入学手続書類は、令和2年3月14日（土）までに本人又は代理人が直接持参することが望ましい。郵送する場合は「書留郵便で速達」とし、令和2年3月14日（土）午後5時までの必着とする。
（注意）消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

- (2) **提出書類**

- ア 誓約書（本学指定様式）
- イ 保証書（本学指定様式）
- ウ 入学料領収書の写し（A4サイズでコピー）又は入学料減免申請手続に係る申出書（本学指定様式）
- エ 写真2枚（上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm）※出願時（受験票）とサイズが異なるので注意。
- オ その他（入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

ア 入学料 県内居住者 282,000円

県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。

※入学料以外の授業料・学外研究費については、23ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

一般入試と同様に扱う。（12ページ参照）

(5) 手続場所 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(6) 留意事項

ア 令和2年3月14日（土）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものととして扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。

イ 令和2年3月14日（土）までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、「沖縄県立芸術大学授業料等の徴収に関する条例（昭和61年1月7日沖縄県条例第2号）」第13条に基づき、いかなる理由があっても返還しない。

第6 私費外国人留学生入試

1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ、入学時において18歳以上の者とする。

(1) 日本の国籍を有しない者

(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）

(3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2019年度（平成31年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者

(4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者

(5) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験N2レベル相当以上を目安とする）

（注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ、卒業した者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に扱う。

2 選抜方法等

大学入試センター試験を免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。

①2019年度（平成31年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績

②一般志願者と同じ個別学力検査等を課した成績

③出願書類等

3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般入試と同様に実施する。（6～8ページ参照）ただし、大学入試センター試験は免除する。

4 出願手続

(1) 出願期間 令和2年1月27日（月）～2月5日（水）

(2) 願書の提出は、「書留郵便で速達」とし郵送すること。日本国内から郵送したものは、2月5日（水）

までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

(注意) 外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付にかかわらず日本時間の2月5日(水)午後5時までに到着したものを有効とする。

(3) 出願方法

日本国内から出願する場合は、次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑩の順序で重ね、本学所定の封筒(綴り込みの教務学生課あての封筒)に入れ、郵送(書留郵便で速達)すること。また、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書 (綴込用紙)	ア 本学所定の用紙に所要事項を漏れなく記入すること。 イ 記入はすべてペン又はボールペン(黒又は青)を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。 ウ 「氏名欄」は、下の欄に入学志願者の氏名を記入し、上の欄に入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。 エ 「在留資格欄」は、入学志願者の有する在留資格について記入すること。 オ 「最終学歴欄」は、卒業(修了)年月日、学校名、所在地を記入すること。 カ 「資格試験欄」は、国際バカロレア資格等大学入学に必要な資格を取得している者はその取得年月日、名称を記入すること。 キ 独立行政法人日本学生支援機構が実施した2019年度(平成31年度)第1回又は第2回日本留学試験の受験番号を記入すること。 ク 試験曲の選択など願書記入箇所が多いので、記入漏れがないよう特に気をつけること。 ケ 「学歴欄」は、すべての教育機関にわたって、学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業(修了)年月日を年月順に記入すること。
②受験票・写真票 (綴込用紙)	ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。 イ 受験票と写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真(縦4cm、横3cm)を貼り付けること。
③入学考査料	ア 17,000円(納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る) イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。
④領収書・領収書 原符(綴込用紙)	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤最終学校の卒業証 明書及び成績証明 書等	日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は資格証明及び成績証明書を提出すること。 なお、日本の高等学校に相当する学校の卒業のうち学校教育年限の合計が12年に満たない者は、日本の文部科学大臣が指定した教育施設の修了証明書を合わせて提出すること。
⑥旅券の写し又は 在留カード等の写し	外国人は、旅券の写し、又は在留カード(もしくは外国人登録証明書)の表裏両面の写しを提出すること。
⑦受験票送付用封筒 (綴込封筒)	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑧その他の書類	入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が平成31年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。
⑨伴奏用楽譜 (声楽コース)	ア 声楽コース入学志願者は、次の伴奏用楽譜を提出すること。 (ア) 課題曲のうち指定以外の調を選択した場合や、イタリア歌曲で外国版を使用する時。 (イ) 自由曲 イ 提出楽譜は返却しない。 ウ 提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。 エ 提出楽譜は、印刷楽譜のコピーを用いること。または黒のペン又はボールペンで正確に写されたものでもよい。 オ 提出楽譜は、1曲毎に表紙(A4判)を付けて別冊にし、合本にしないこと。 カ 提出楽譜は、表紙に曲目、課題曲・自由曲の別、調、氏名を明記すること。 キ 提出楽譜は、ピアノ伴奏者が見やすく、ページをめくりやすくするために、各ページが全開するように綴じること。

出願書類等	摘 要
⑩音楽又は舞踊の実技の録音媒体 (沖縄文化コース)	ア 沖縄文化コース入学志願者のうち、舞踊の実技を行う者は舞踊に用いる録音媒体を提出すること。 イ 再生用機器等は本学側が準備する。 ウ 提出した録音媒体は実技試験終了後返却する。
⑪課題曲・自由曲の録音媒体 (琉球舞踊組踊コース)	ア 琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の録音媒体を提出すること。 イ 再生用機器等は本学側が準備する。 ウ 提出した録音媒体は実技試験終了後返却する。

「普通為替証書」見本

(4) 出 願 先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080 (直通)

(5) 出願上の注意

- ア 出願後は、志望専攻(コース)の変更を認めない。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ 声楽コース入学志願者及び声楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。
 ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- オ 弦楽コース、管打楽コース入学志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
 (弦 楽 器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
 (管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、
 トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器
- カ 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者のうち、ヴィオラを第2志望とする入学志願者は、願書の該当する項目を選択し、出願すること。
- キ 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。
 歌三線、琉球箏曲
- ク 声楽、弦楽、管打楽、音楽学コースの入学志願者は、聴音と新曲視唱のいずれかを選択し、出願すること。
- ケ 琉球舞踊組踊コースの入学志願者は、楽典と初見視唱のいずれかを選択し、出願すること。

(6) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるので、

令和2年1月16日(木)午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

ア 相談の方法 相談申込書(健康診断書等必要書類添付)を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。

イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

電話番号 (098) 882-5080

5 受験票

(1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票と旅券(パスポート)を必ず持参すること。

(2) 受験票が、令和2年2月14日(金)までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

6 受験上の注意

(1) 試験当日は、「本学受験票」と「旅券(パスポート)」の両方を必ず携帯すること。

(2) 試験に関する諸事項(日程、科目、集合時刻等)の連絡は、管理棟入口前(首里当蔵キャンパス)で掲示及び本学ホームページ(<http://www.okigei.ac.jp>)に掲載する。

ア この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、実技試験における演奏順を確認すること。

イ 試験日程、試験場配置図及び集合時刻等は、2月24日(月)の午後3時に掲示(掲載)する。ただし、ピアノコース、弦楽コース及び琉球古典音楽コースは2月25日(火)の午後3時に掲示(掲載)する。

ウ 実技試験の演奏順等の掲示(掲載)に記載する番号は、本学の受験番号である。

エ 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないよう特に注意すること。

(3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。

(4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情(公的事情)により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。

(5) 指定の練習室以外の場所(集合場所、控室、廊下等)での発声又は楽器の練習を禁止する。

(6) 試験で使用する楽器のうち、ピアノ、打楽器、マリンバ以外は各自持参すること。ただし、コントラバス、箏は本学で準備したものを使用してもよい。

(7) 試験で使用する稽古着(着物)、小道具は各自持参すること。

(8) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

(9) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。

ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。

イ 筆記試験の際は、机の上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。

ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。

(10) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

(11) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。

(12) 携帯電話・PHS等は、試験場に入る前に電源を切ること。

(13) 試験が午後にわたるときは昼食を持参することが望ましい。

(14) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。

(15) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。

(16) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。

7 合格者の発表

- (1) 第1次試験合格者の発表は、8ページの「試験日程」に示した日時に管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で受験番号を掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。
- (2) 最終合格者の発表

令和2年3月5日（木）（午前10時）に管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で受験番号を掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 1月28日（火）10:00～2月15日（土）17:00
(2) 合格者発表案内 3月5日（木）10:00～3月8日（日）17:00

8 入学手続

- (1) 入学手続期間 令和2年3月8日（日）～3月14日（土）
※窓口受付時間：土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで

入学手続書類は、令和2年3月14日（土）までに本人又は代理人が直接持参することが望ましい。
郵送する場合は「書留郵便で速達」とし、令和2年3月14日（土）午後5時までの必着とする。
（注意）消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書（本学指定様式）
イ 保証書（本学指定様式）
ウ 住民票の写し（または住民票記載事項証明書）もしくは、外国人登録原票記載事項証明書
エ 入学料領収書の写し（A4サイズでコピー）又は入学料減免申請手続に係る申出書（本学指定様式）
オ 写真2枚（上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm）※出願時（受験票）とサイズが異なるので注意。
カ その他（入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・学外研究費については、22ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

一般入試と同様に取り扱う。（12ページ参照）

(5) 手続場所 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(6) 留意事項

- ア 令和2年3月14日（土）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
- イ 令和2年3月14日（土）までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
- ウ いったん納入した入学料や授業料は、「沖縄県立芸術大学授業料等の徴収に関する条例（昭和61年1月7日沖縄県条例第2号）第13条に基づき、いかなる理由があっても返還しない。

9 その他

私費外国人留学生の募集に関する上記以外の事項については、一般入試の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

第7 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（音楽）と高等学校教諭1種免許状（音楽）を取得することができる。

学 生 生 活

1 入学料及び授業料

- (1) 入 学 料 県 内 居 住 者 282,000円
 県内居住者以外の者 512,000円
- (2) 授 業 料 年 額 535,800円 （内訳 前期分267,900円、後期分267,900円）
 納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。
 ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。
- (3) 入学料及び授業料の減免
 原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。
 - ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
 - ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
 - ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

2 授業料以外に必要な経費

琉球芸能専攻では、実習経費（黒朝・稽古着代）として、入学時に約70,000円を、また、学外研究費として、実施年次（3年次）に約120,000円を徴収する。

音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設等での研修のために、実施年次に120,000円程度が必要となる。

3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）
- (2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
- (3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
- (4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険並びに学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続き等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （４年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	４年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

５ その他

本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。なお、借家等の情報は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課において提供している。

入学願書は、記入例を参考に該当する項目について、その枠内に丁寧に記入すること。

●記入しないこと

●姓と名の間は必ず
1マスあけること

●大学入試センター試験受験番号等を正しく記入すること

● 高等学校等コード
は大学入試センタ
ー試験の志願票に
記入したコードを
記入すること

●郵便番号は必ず7桁で記入すること

●該当する項目のみ
記入すること

●第2志望の場合も記入すること

●記入しないこと

●ヴァイオリンとヴィオラを併願する者は、楽器番号「11」を記入のうえ、□欄に斜線を引くこと

カタカナ
記入例

アイ	ウエ	オカ	キク	ケコ	サシ	スセ	タチ	ツト
ナニ	ヌネ	ノハ	ヒフ	ヘホ	ミメ	ムモ	ヤエ	ト
ラリ	ルレ	ロワ	ワン	。				

令和2年度 沖縄県立芸術大学音楽学部一般入試入学願書（前期日程試験）

- 注1. HBの鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
 2. 訂正は消しゴムできれいに消し、消し屑を残さないこと。
 3. 折り曲げたり、汚したりしないこと。
 4. 裏面も必ず記入すること。

前期

受験番号		8888																		
氏名	カタカナ																			
	漢字																			
性別	8	1. 男 2. 女	生年 月日	S. 昭和 H. 平成	8	88年		88月		88日										
志望学科 専攻等	30. 音楽表現専攻声楽コース 35. 音楽文化専攻沖縄文化コース 第1志望 第2志望 31. 音楽表現専攻ピアノコース 36. 音楽文化専攻音楽学コース 32. 音楽表現専攻弦楽コース 37. 琉球芸能専攻古典音楽コース 88 88 33. 音楽表現専攻管打楽コース 38. 琉球芸能専攻舞踊組踊コース 34. 音楽表現専攻作曲理論コース																			
大学入試センター試験成績請求票																				
受験番号		88888				試験場 コード	88888888				発行 回数	8								
高等学校	高校名	都道府県 国立 公立 私立 高等学校 科（全日・定時・通信）																		
	コード	888888				学科	8	1. 普通科 4. 工業科 7. その他の学科 2. 理数科 5. 商業科 3. 農業科 6. 総合学科												
	卒業年 月	S. 昭和 H. 平成 R. 令和	8	88年		88月		（卒業・卒業見込）												
	高校以外	8	1. 外国の学校等 3. 文部科学大臣の指定した者 5. 高専3年修了、その他 2. 在外教育施設 4. 高等学校卒業程度認定試験 （高等学校の場合、記入しない）																	
入学志願者現住所	〒	8888				都道府県				市区郡										
	市区郡以下																			
	電話番号	8888888888														左詰めで記入してください。				
合格通知先	〒	8888				都道府県				市区郡										
	市区郡以下																			
	電話番号	8888888888														左詰めで記入してください。				
声種・楽器等	声楽声種	8 1. ソプラノ 3. アルト 5. テノール 7. バス 2. メゾソプラノ 4. カウンターテノール 6. バリトン																		
	弦楽器	88 11. ヴァイオリン 13. チェロ ヴァイオリン第一志望 12. ヴィオラ 14. コントラバス でヴィオラ第二志望																		
	管打楽器	88 21. フルート 24. ファゴット 27. トランペット 30. テューバ 22. オーボエ 25. サクソフォーン 28. テナートロンボーン 31. 打楽器 23. クラリネット 26. ホルン 29. パストロンボーン																		
	琉球古典音楽 コース種目	88 41. 歌三線 42. 琉球箏曲																		

記入例を参考に記載すること。

数字の記入例	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

*声種・楽器	*受験番号
--------	-------

*は記入しないで下さい。

(入学願書の裏面)

別冊子「令和2年度音楽学部試験曲」を参照の上、試験曲等の記入を行うこと。
また、第2志望で出願がある場合も、志望専攻等の□第2志望にチェックを行い、記入すること。

前期

声楽コース

□声楽コース第2志望

課 題 曲	(調:)	
	(調:)	
	(調:)	
自 由 曲	作曲者名	
	曲 名	(調:)

※自由曲に課題曲の17曲を含めることはできない。

ピアノコース

□ピアノコース第2志望

課 題 曲	A
	B
	C

弦楽コース

□弦楽コース第2志望

課 題 曲 A	
課 題 曲 B	
※コントラバスで受験する者のみ記入	コントラバスを持参(する ・ しない)

管打楽コース

□管打楽コース第2志望

※下の表は、打楽器のみA・Bを選択し、B選択者は曲名も記入のこと

選択欄 (○印記入)	内容	曲名
	打楽器A	
	打楽器B 課題曲②の記号と曲名	

琉球古典音楽コース

□琉球古典音楽コース第2志望

課 題 曲	
自 由 曲	
※箏で受験する者のみ記入	箏を持参(する ・ しない)

琉球舞踊組踊コース

□琉球舞踊組踊コース第2志望

課 題 曲	
自 由 曲	

副科ピアノ(声楽・弦楽・管打楽・作曲理論・音楽学コース入学志願者のみ記入)

作 曲 者 名	
曲 名	

音楽又は舞踊の実技(沖縄文化コース入学志願者のみ記入)

音楽実技の場合	曲名(作曲者名):	使用楽器:
舞踊実技の場合	演目・ジャンル名:	録音媒体:CD・USBメモリー・() (着替え: 有 無) (履物:)

★試験科目の選択(声楽・弦楽・管打楽・音楽学・琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ記入)

選択する試験科目に ○印記入	声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース入学志願者	琉球舞踊組踊コース入学志願者
	聴音 新曲視唱	楽典 初見視唱

令和2年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）
音楽学部一般入試写真票

受験番号								
氏 名								
志 望 専 攻 等	専攻				コース			
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。								
大学入試センターから送付されている「令和2 年度センター試験成績請求票（前期日程用）」 （青色で印刷されている）をのり付けすること。								
出 欠 確 認	本 学 受 験 票				センター試験受験票			
	1□	2□	3□	4□	1□	2□	3□	4□

令和2年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）
音楽学部一般入試写真票

受験番号								
氏 名								
第2志望 専 攻 等	専攻				コース			
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。								
出 欠 確 認	本 学 受 験 票				センター試験受験票			
	1□	2□	3□	4□	1□	2□	3□	4□

注）第2志望を出願しない者は、記入しないこと。

令和2年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）
音楽学部一般入試受験票

受験番号								
氏 名								
志 望 専 攻 等	専攻				コース			
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。								
（注）・試験当日は、本受験票及び大学入試センター 試験受験票の両方を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。								

令和2年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部社会人入試入学願書

受験番号			・記入は、すべてペン又はボールペン (黒又は青)を使用し、楷書で丁寧に記入すること。 ・太枠線内は記入しないこと ・裏面も必ず記入すること
フリガナ		男 ・ 女	
氏名			
生年月日	年 月 日		
志望専攻・ コース等	音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻 第1志望 コース 第2志望 コース		
出願資格	_____立 _____高等学校 _____科 昭和・平成 _____年 _____月卒業(全日制・定時制・通信制) (出身高等学校電話番号 _____)		
現住所	(〒 _____) 電話 _____		
合格通知書 送付先	(〒 _____) 電話 _____		
1 種目区分 (琉球古典音楽コース入学志願者のみいずれか1つに○をする) ※琉球箏曲を選択する者は箏の持参についても○をすること ・歌三線 ・琉球箏曲 ※箏を持参 (する ・ しない) 2 課題曲 (曲名を記入する) ・ 3 自由曲 (曲名を記入する) ・			

履 歴 書

(必ず本人が記入すること)

学歴 (高校卒業以降)	年	月	
職歴			
業績			

注) 業績欄には、芸歴その他の活動等を記入すること。

令和2年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部社会人入試写真票

受験番号	
氏 名	
志 望 専 攻 等	琉球芸能 専攻 コース
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。	
※ 出 欠 確 認	

令和2年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部社会人入試写真票

受験番号	
氏 名	
第2志望 専 攻 等	琉球芸能 専攻 コース
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。	
※ 出 欠 確 認	

注) 第2志望を出願しない者は、記入しないこと。

令和2年度 沖縄県立芸術大学
音楽学部社会人入試受験票

受験番号	
氏 名	
志 望 専 攻 等	琉球芸能 専攻 コース
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。	
(注) ・試験当日は、本受験票を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。	

受験番号

令和 年 月 日

志 願 理 由 書

(必ず本人が記入すること)

1 入学志願者氏名

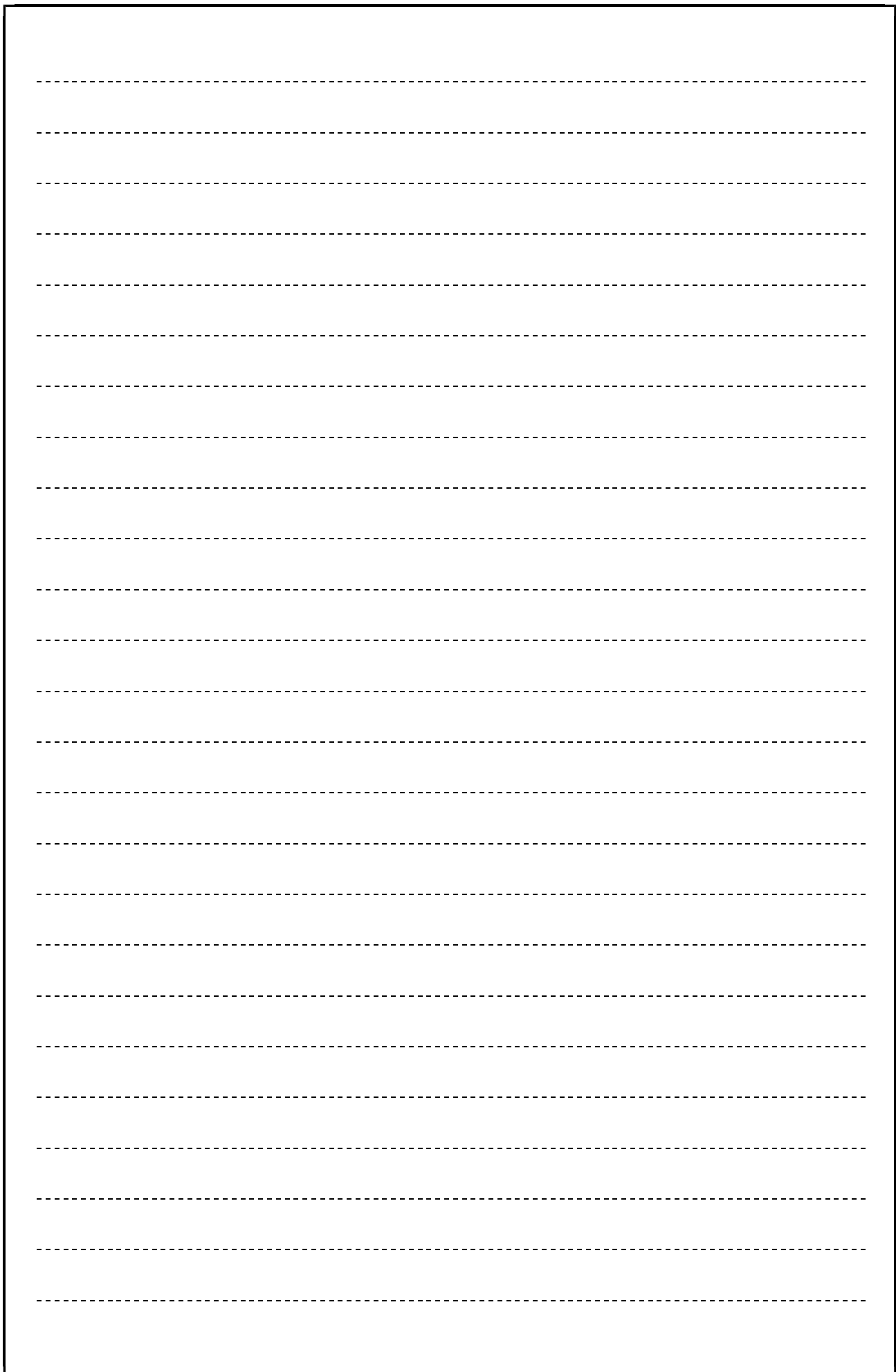
入学志願者住所

2 出身高等学校名

卒業年月日 昭和・平成 年 月 日 卒業

3 志願理由（進学の目的、将来の計画、自分の長所や特技等について自薦書となるように詳細に記入すること。併願者については、併願理由も記入すること）

裏へ続く



令和2年度（2020年度） 沖縄県立芸術大学
音楽学部私費外国人留学生入学願書

受験番号				写 真 出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真をこのわく内にはりつけること。
フリガナ				
氏 名				
生 年 月 日	年 月 日	性 別	男 ・ 女	
国 籍 名				
在 留 資 格				
志 望 専 攻 ・ コ ー ス 等	第 1 志 望		第 2 志 望	
	専攻 コース 声種・専攻楽器：		専攻 コース 声種・専攻楽器：	
試 験 曲 等		（裏面の別様式に記入して下さい。）		
出 願 資 格	最終学歴	卒業（修了） 年 月 日	年 月 日	
		学 校 名		
		所 在 地		
	資格試験	取得年月日	年 月 日	
		名 称		
本 人	現住所	（〒 ） 電話（ ） —		
2019年度（平成31年度）第1回日本留学試験の受験番号番				
2019年度（平成31年度）第2回日本留学試験の受験番号番				

注）・太枠線内は記入しないこと（写真票、受験票についても同じ）。
 ・第2志望については7ページ参照のこと。
 ・裏面も記入すること。

*声種・楽器	*受験番号
--------	-------

(入学願書の裏面)

*は記入しないで下さい。

別冊子「令和2年度音楽学部試験曲」を参照の上、試験曲等の記入を行うこと。
また、第2志望で出願がある場合も、志望専攻等の□第2志望にチェックを行い、記入すること。

声楽コース

□声楽コース第2志望

課 題 曲	(調:)	
	(調:)	
	(調:)	
自 由 曲	作曲者名	
	曲 名	(調:)

※自由曲に課題曲の17曲を含めることはできない。

ピアノコース

□ピアノコース第2志望

課 題 曲	A
	B
	C

弦楽コース

□弦楽コース第2志望

課 題 曲 A	
課 題 曲 B	
※コントラバスで受験する者のみ記入	コントラバスを持参(する ・ しない)

管打楽コース

□管打楽コース第2志望

※下の表は、打楽器のみA・Bを選択し、B選択者は曲名も記入のこと

選択欄 (○印記入)	内容	曲名
	打楽器A	
	打楽器B 課題曲②の記号と曲名	

琉球古典音楽コース

□琉球古典音楽コース第2志望

課 題 曲	
自 由 曲	
※箏で受験する者のみ記入	箏を持参(する ・ しない)

琉球舞踊組踊コース

□琉球舞踊組踊コース第2志望

課 題 曲	
自 由 曲	

副科ピアノ(声楽・弦楽・管打楽・作曲理論・音楽学コース入学志願者のみ記入)

作 曲 者 名	
曲 名	

音楽又は舞踊の実技(沖縄文化コース入学志願者のみ記入)

音楽実技の場合	曲名(作曲者名):	使用楽器:
舞踊実技の場合	演目・ジャンル名:	録音媒体:CD・USBメモリー・() (着替え: 有 無) (履物:)

★試験科目の選択(声楽・弦楽・管打楽・音楽学・琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ記入)

選択する試験科目に ○印記入	声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース入学志願者	琉球舞踊組踊コース入学志願者
	聴音 新曲視唱	楽典 初見視唱

合格通知 受信場所 (日本国内 に限る)	(〒 —) 電話 () —
-------------------------------	--

日本語の学習歴

学 習 機 関 名	所 在 地	学 習 期 間

学 歴

学 校 名	所 在 地	修業年限	入 学 年 月 日	卒 業 (修 了) 年 月 日
		年		
		年		
		年		
		年		
		年		
		年		
以上を通算した全学校教育年数		年		

職 歴

職 場 名	所 在 地	勤 務 期 間
		～
		～
		～
		～
		～

(切り取り線)

令和2年度（2020年度）沖縄県立芸術大学
音楽学部私費外国人留学生入試写真票

受験番号								
フリガナ								
氏 名								
志 望 専 攻 等	専 攻				コ ー ス			
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。								
出 欠 確 認	本 学 受 験 票				旅 券（パスポート）			
	1□	2□	3□	4□	1□	2□	3□	4□

（切り離さないこと）

令和2年度（2020年度）沖縄県立芸術大学
音楽学部私費外国人留学生入試写真票

受験番号								
フリガナ								
氏 名								
第2志望 専 攻 等	専 攻				コ ー ス			
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。								
出 欠 確 認	本 学 受 験 票				旅 券（パスポート）			
	1□	2□	3□	4□	1□	2□	3□	4□

注）第2志望を出願しない者は、記入しないこと。

（切り離さないこと）

（切り離さないこと）

令和2年度（2020年度）沖縄県立芸術大学
音楽学部私費外国人留学生入試受験票

受験番号								
フリガナ								
氏 名								
志 望 専 攻 等	専 攻				コ ー ス			
写 真 出願前3ヶ月以内に 撮影した縦4cm、横 3cm（上半身、無帽、 正面向）の写真をこ のわく内にはりつけ ること。								
（注）・試験当日は、本受験票及び旅券（パスポート） の両方を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。								

（切り離さないこと）

（切り取り線）

様式第25号

領 収 書									
領収書番号	第	号	調 定 番 号	第	号				
納入義務者 住所・氏名									
会 計 年 度	平成31年度				一般会計歳入				
金 額	百	拾	万	千	百 拾 円				
		¥	1	7	0 0 0				
内 訳									
種別	摘 要				金額				
教育手数料	県立芸大入学考査料〔一般(前期)・社会人・外国人〕					¥17,000円			
	普通為替証書								
	番号:								
	音楽学部								
※音楽表現・音楽文化・琉球芸能									
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。									

- 1 納入義務者住所・氏名欄に（原符とも）入学志願者住所・氏名を記入すること。（太線枠内）
- 2 ※印は、志願する専攻を○で囲むこと。
- 3 その他の欄は記入しないこと。
- 4 本領収書、領収書原符は銀行用紙ではありません。

様式第25号

領 収 書 原 符									
領収書番号	第	号	調 定 番 号	第	号				
納入義務者 住所・氏名									
会 計 年 度	平成31年度				一般会計歳入				
金 額	百	拾	万	千	百 拾 円				
		¥	1	7	0 0 0				
内 訳									
種別	摘 要				金額				
教育手数料	県立芸大入学考査料〔一般(前期)・社会人・外国人〕					¥17,000円			
	普通為替証書								
	番号:								
	音楽学部								
※音楽表現・音楽文化・琉球芸能									
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。									

(切り離さないこと)

